

共通納税システム API 連携開発業務委託（その2）仕様書

地方税共通納税システムを利用した公金収納が令和8年9月より開始されることを受け、豊中市上下水道局では、「上下水道情報システム」「給排水工事管理システム」「水道維持管理業務支援システム」「企業会計システム」「上下水道料金調定システム」の5つのシステムが対象となっている。

令和7年度は、各システムで個別の機能改良の対応を実施すると共に、LG-WAN 環境への通信が通る事前準備を整え、令和8年度は、対象となるFWやプロキシサーバを設定変更後に各システムとの連携テストを行い、令和8年9月に運用開始となるスケジュールである。

共通納税インターフェースシステムとの連携に必要な共通の「ハードウェア」は令和7年度に構築しており、「通信設定変更」については別事業者を通じて令和8年6月頃実施する予定である。5つのシステムで集約したデータを共通納税インターフェースシステムへ送信し、処理結果を受信する仕組みが必要であるため、令和8年度は共通で利用する連携アプリを開発する。

1. 構築内容

構築期間：契約締結日から令和8年10月30日まで

構築場所：豊中市上下水道局 5F 情報システム構築室

eLTAX 集計サーバ内（別紙1）

構成：Windows Server 2022 standard、メモリ 16GB、HDD 2TB

内容：共通納税インターフェースシステムと eLTAX 用集計サーバ間で API を使用したデータのアップロード及びダウンロードする機能を開発すること。

参考資料：共通納税インターフェース API 仕様書第 1.5 版（暫定版）

今回構築するアプリは 5 つのシステムで共通利用するため、各システムの保守管理事業者との事前調整が必要である。

各システムを保守管理している事業者は 3 社あり、内訳は以下の通りである。

- ・(株)ジオプラン・ナムテック（上下水道情報システム・給排水工事管理システム・水道維持管理業務支援システム）以下「GIS」とする。
- ・(株)ぎょうせい（企業会計システム）
- ・富士通 Japan(株)（上下水道料金調定システム）

2. 共通納税システム API 連携アプリ開発

eLTAX 用集計サーバへ収集された納付書情報登録ファイルや共通納税システムで処理された納付情報ファイルをAPI を使用してアップロードまたはダウンロードを行う機能を開発する。

納付書情報のアップロード方式は「全件アップロード方式」を採用する。API の詳しい仕様は「API 仕様書（共通納税IFS）.pdf」を参照する。

対象システムは、上下水道情報システム、給排水工事管理システム、水道維持管理業務支援システム、企業会計システム、水道料金調定システムとする。アップロードする単位はシステム毎とし、毎日決まった時間に実行されるよう設定する。なお、アップロードした処理結果のログが出力できる機能も構築範囲に含む。

具体的には、以下を行う。

① 納付情報登録ファイルアップロード機能の開発

- ・ 納付情報登録ファイルアップロード（POST）
- ・ 処理結果確認（GET）
- ・ 処理結果ファイルダウンロード（GET）

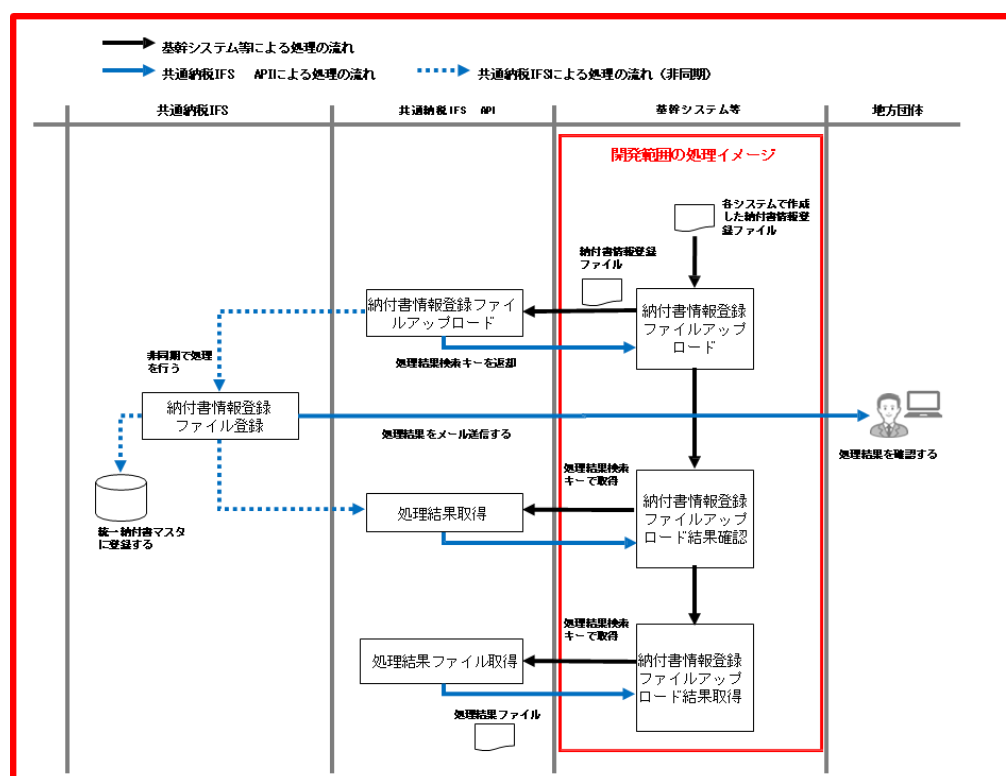


図 1 納付書情報登録ファイルの登録フロー

② 納付情報ファイルのダウンロード機能の開発

- ・ 納付情報ファイル（納付日）ダウンロード（GET）
- ・ 納付情報ファイル（入金日）ダウンロード（GET）

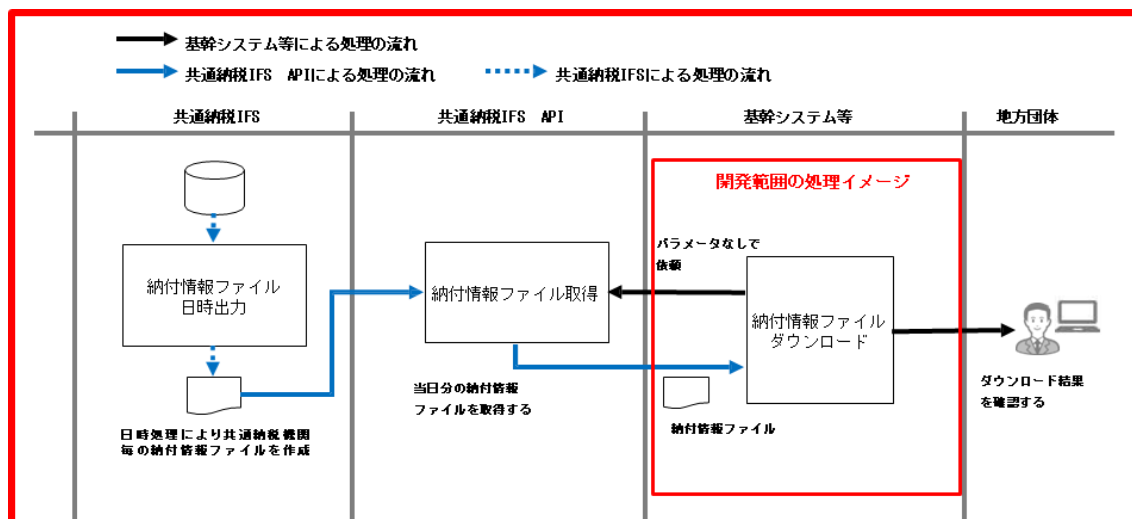


図 2 納付情報ファイルの取得フロー

③ 運用マニュアルの作成

- ・ 今回開発する機能は、各システム管理者で使用する共通システムであるため、運用マニュアルの作成が必要である。